

## 第 2 章 越谷市の子育て環境の状況

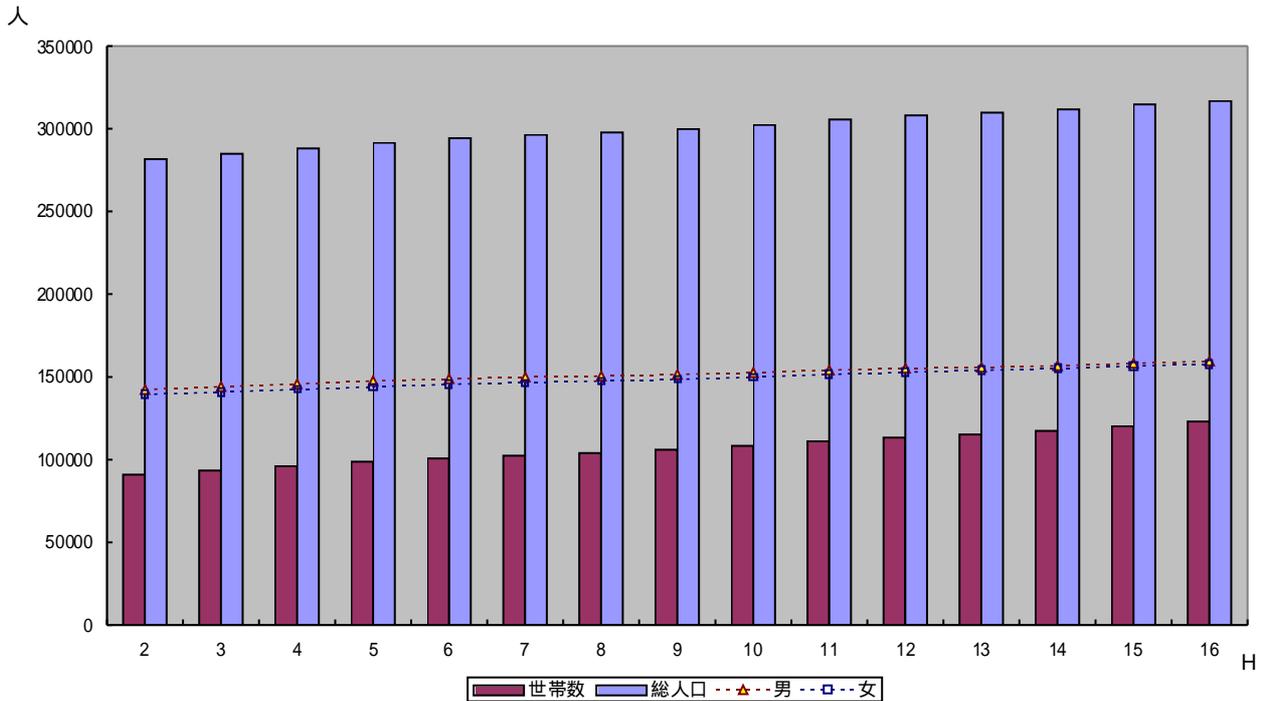


# 1 人口の動向

## (1) 越谷市の総人口の推移

本市の人口は、平成2年から5年までは年間3,000人以上の増加がありましたが、それ以降は、年により1,400人前後から3,000人前後の増加となっています。

越谷市の世帯数、総人口の推移

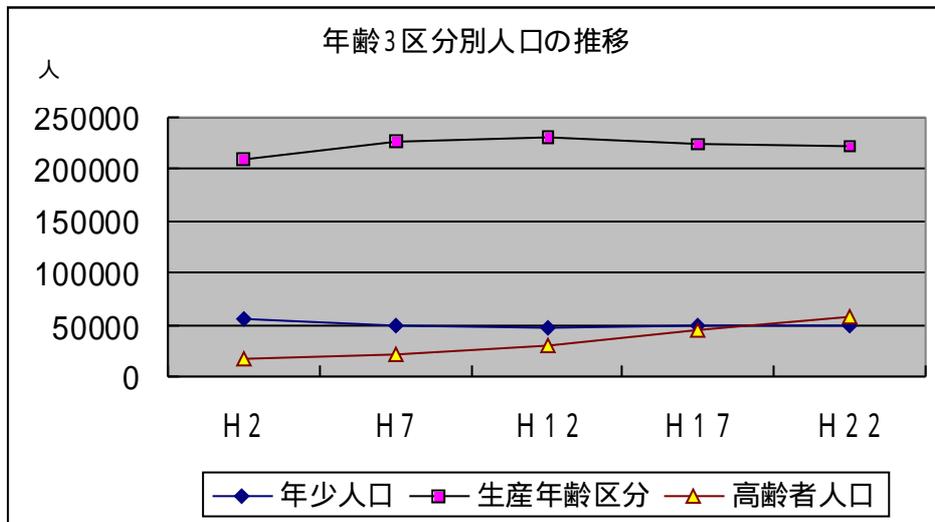


越谷市の世帯数、総人口の推移

年次	世帯数	総人口	男	女	増減数
平成2年	90,871	281,623	142,208	139,415	4,479
平成3年	93,398	284,836	144,077	140,759	3,213
平成4年	96,168	288,101	145,770	142,331	3,265
平成5年	98,718	291,519	147,595	143,924	3,418
平成6年	100,677	294,257	148,845	145,412	2,738
平成7年	102,351	296,426	149,775	146,651	2,169
平成8年	103,930	297,822	150,413	147,409	1,396
平成9年	105,872	299,870	151,420	148,450	2,048
平成10年	108,239	302,368	152,524	149,844	2,498
平成11年	110,993	305,566	154,102	151,464	3,198
平成12年	113,305	308,047	155,195	152,852	2,481
平成13年	115,119	309,743	155,790	153,953	1,696
平成14年	117,398	311,737	156,717	155,020	1,994
平成15年	120,257	314,667	158,172	156,495	2,930
平成16年	122,637	316,466	158,959	157,507	1,799

(注) 各年4月1日現在の住民基本台帳人口 + 外国人登録者数

## ( 2 ) 年 齢 3 区 分 別 人 口 の 推 移



全国的に、高齢者人口は増加し、年少人口は減少する傾向にありますが、本市でも同様な傾向が見られます。

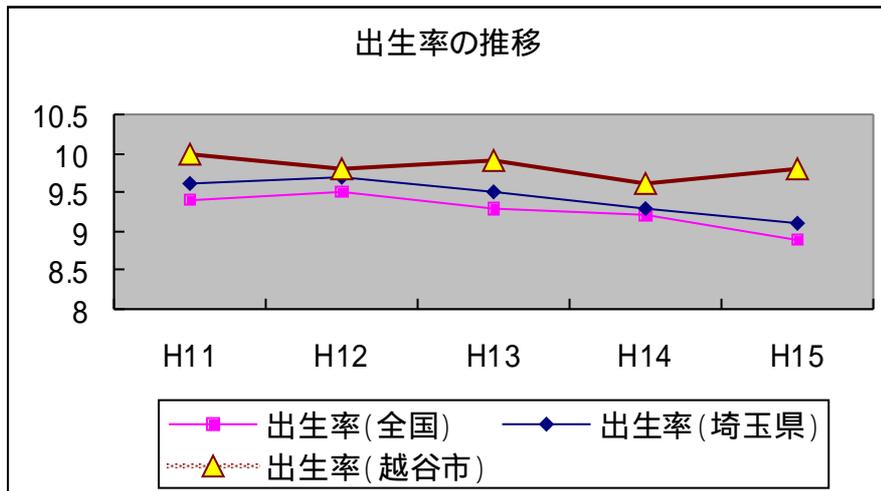
年 齢 3 区 分 別 人 口 の 推 移 ( 国 勢 調 査 )

区分	総人口	年少人口		生産年齢人口		高齢者人口	
		0～14歳	%	15～64歳	%	65歳以上	%
平成2年	285,259	55,279	19.4	209,552	73.5	16,692	5.9
平成7年	298,253	48,184	16.2	226,220	76.1	22,197	7.4
平成12年	308,077	46,268	15.0	230,870	74.9	30,939	10.0
平成17年	318,531	45,988	14.5	225,247	70.7	47,286	14.8
平成22年	322,759	43,586	13.5	215,570	66.8	63,604	19.7

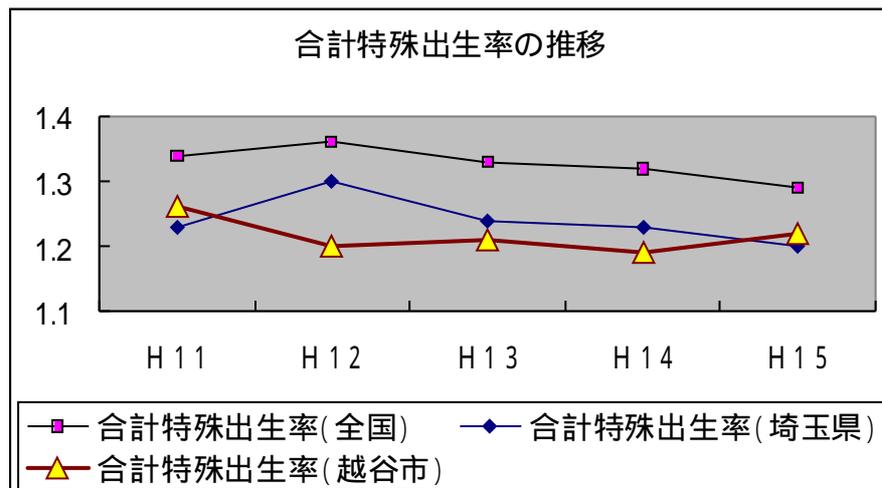
(注) 平成2年～12年は国勢調査。平成17年～22年は推計。

### (3) 越谷市の出生数、出生率、合計特殊出生率の推移

越谷市の出生数をみますと、平成11年から14年では年間で約3,000人(3,014人～3,078人)で推移しています。出生率では、平成11年の10.0から平成14年の9.6へ低下していますが、平成15年は9.7で、やや上昇しました。全国や埼玉県と比較すると、高くなっています。



合計特殊出生率(1人の女性が一生の間に産む平均の子ども数)では、越谷市は平成11年の1.26から平成14年の1.19へと低下していましたが、平成15年は1.22で上昇しています。埼玉県や全国と比較しますと、越谷市は平成12年以降、埼玉県や全国よりも低くなっていますが、平成15年では、埼玉県を上回っています。



出生数、出生率、合計特殊出生率の推移

年次	出生数			出生率			合計特殊出生率		
	全国	埼玉県	越谷市	全国	埼玉県	越谷市	全国	埼玉県	越谷市
平成 11 年	1,177,669	65,711	3,078	9.4	9.6	10.0	1.34	1.23	1.26
平成 12 年	1,190,547	66,376	3,016	9.5	9.7	9.8	1.36	1.30	1.20
平成 13 年	1,170,662	65,418	3,062	9.3	9.5	9.9	1.33	1.24	1.21
平成 14 年	1,153,855	64,762	3,014	9.2	9.3	9.6	1.32	1.23	1.19
平成 15 年	1,123,828	63,353	3,062	8.9	9.1	9.7	1.29	1.21	1.22

(注)厚生労働省「人口動態統計」による。

出生率：人口千人に対する出生数を示す。

合計特殊出生率：1人の女性（15歳～49歳）が一生の間に産む平均の子ども数。「人口動態統計」（厚生労働省）の資料に基づき、埼玉県福祉政策課で算出したもの。

## 人口の動向のまとめ

本市では、高齢者人口は増加し、年少人口は減少する傾向にあります。また、合計特殊出生率は、平成 15 年度では埼玉県平均を上回っています。

近隣との関係では、子どもを介して築かれる要素が大きく、少子化は地域コミュニティの希薄化や親同士の交流、子育て経験者と出会う機会を減少させるため、地域の子育て機能の低下をもたらし、孤立した中での育児や育児不安などの問題が顕在化してきます。

また、異年齢の子ども同士による遊びなどを通しての社会性の習得が難しくなるなど、少子化は、子ども社会にも影響を与えます。

## 課題

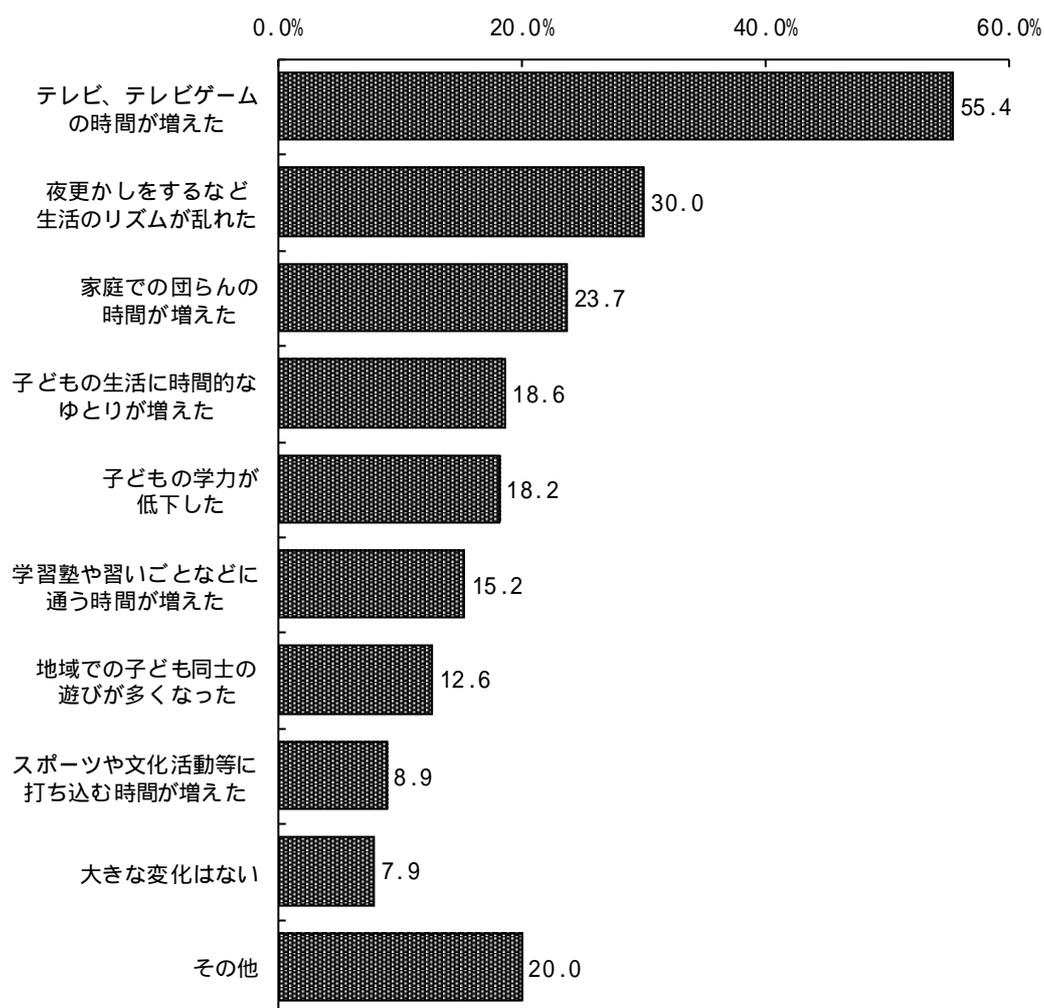
- ・子育ての孤立感や負担感を軽減
- ・親の交流機会の提供や相談機能の充実
- ・子どもの社会性の習得

## 2 子どもや家庭、地域等をめぐる状況

市では、この計画を策定するための基礎資料を得るため、平成16年1月に越谷市子育て実態調査を実施しました。そして、就学前児童の保護者1,523人（回収率60.9%）、小学生の保護者1,393人（回収率55.7%）から回答を得ました。このアンケートの調査項目から、本市における子どもや家庭、地域等を取り巻く状況は以下のとおりです。なお、一部は、厚生労働省等の調査の資料を用いました。

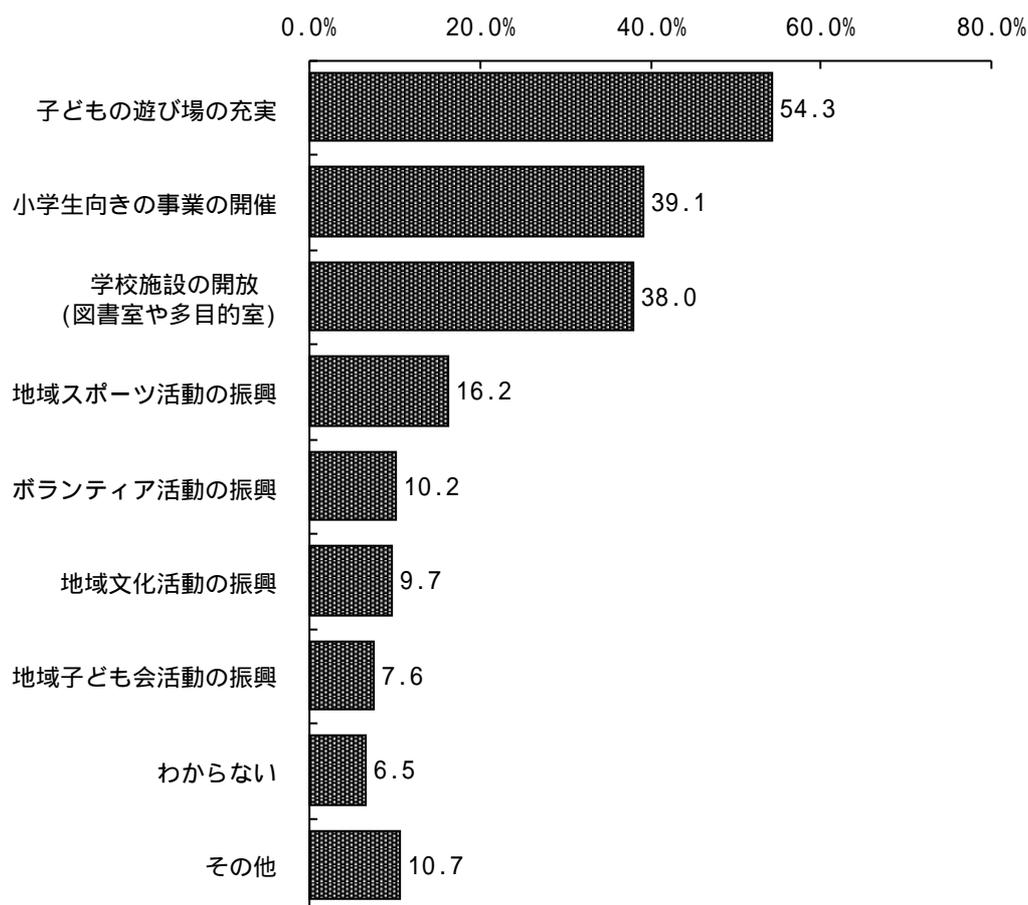
### (1) 子どもの状況

学校週5日制による子どもの生活の変化について（複数回答）



学校週5日制による子どもの生活の変化については、「家庭での団らんの時間が増えた」、「子どもの生活に時間的なゆとりが増えた」とする回答がある反面、「テレビ・テレビゲームの時間が増えた」、「夜更かしをするなど生活のリズムが乱れた」といった回答が多くなっています。

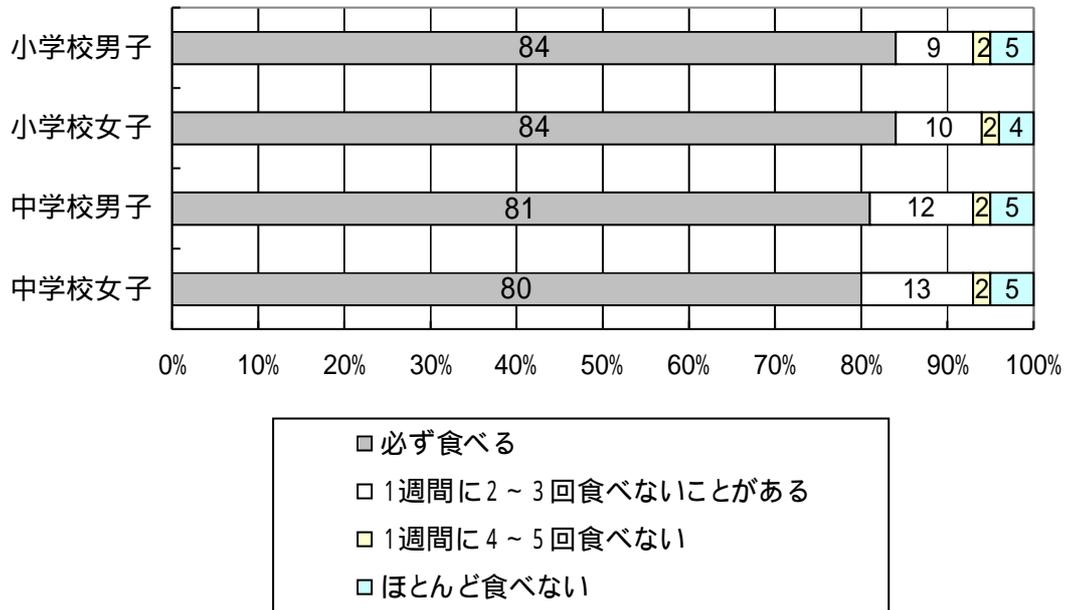
#### 学校週5日制になって行政に望むこと（複数回答）



学校週5日制になって行政に望むことについては、「子どもの遊び場の充実」や「小学生向けの事業の開催」、「学校施設の開放（図書室や多目的室）」等、子どもの居場所づくりに関する要望が多くなっています。

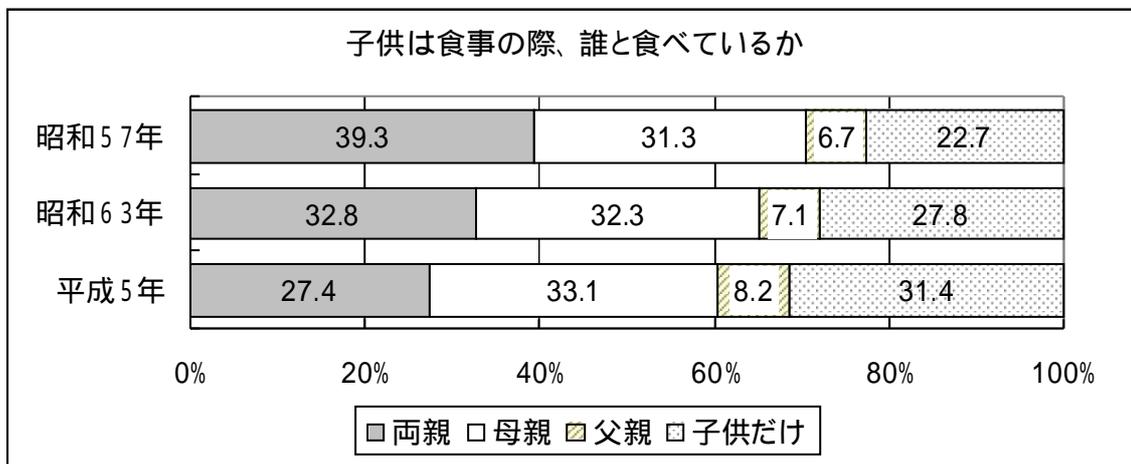
## 児童の朝食の欠食状況について

### 児童の朝食の欠食状況



厚生労働省「平成12年度児童生徒の食生活等実態調査」

## お子さんの食事の時、誰と食べていますか



文部省「平成5年度国民栄養調査」

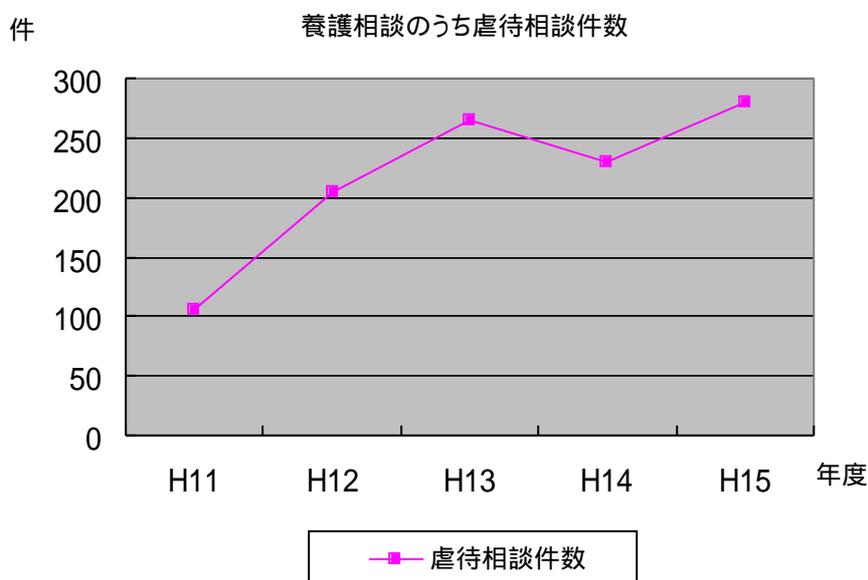
朝食の喫食状況についての調査から、朝食を毎日とらない子どもが10%以上いることが分かります。また、一人で食事をする子どもが30%以上となっています。

子どもに関する相談件数について(相談内容別)

【越谷児童相談所管内相談内容別受付状況】

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
養護	368	532	631	545	652
うち虐待	106	204	264	230	280
保健	22	14	3	9	10
心身障害	1097	1112	1137	1129	970
肢体不自由	33	40	45	45	36
知的障害	955	1017	1026	1027	898
その他	109	55	66	57	36
非行	195	185	238	192	235
く犯行為等	87	61	97	79	68
触法	108	124	141	113	167
育成	210	227	245	233	225
性格行動	135	137	181	158	149
不登校	61	62	43	57	62
適性	3	1	0	2	4
しつけ	11	27	21	16	10
その他	53	20	28	18	26
計	1945	2090	2282	2126	2118

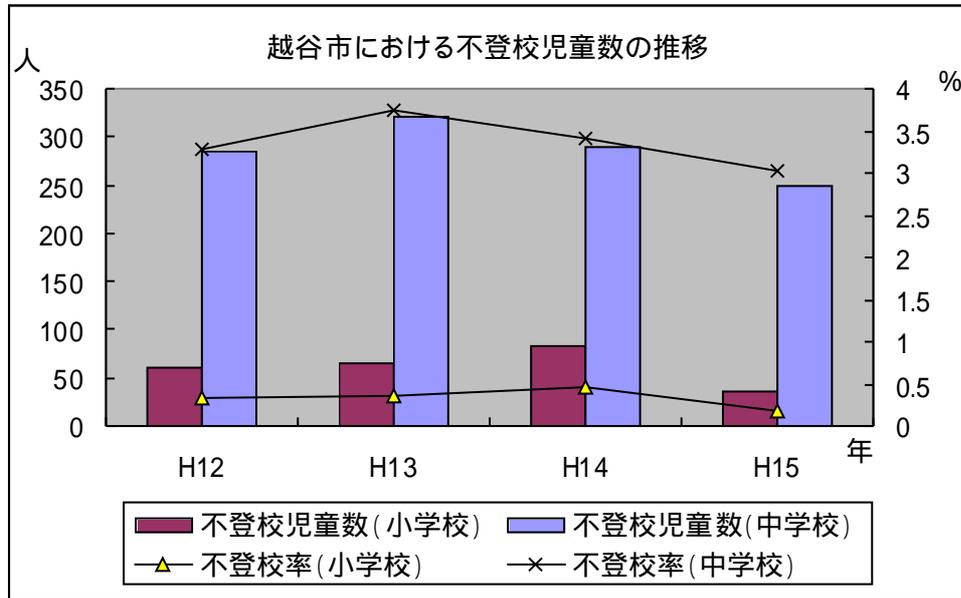
【越谷児童相談所管轄区域】 越谷市・春日部市・草加市・八潮市・三郷市  
幸手市・吉川市・宮代町・栗橋町・鷲宮町・杉戸町・松伏町・庄和町



埼玉県越谷児童相談所統計

越谷児童相談所管内の養護相談のうちの虐待相談件数は、平成14年度はやや減少したものの、その後は依然として増加傾向にあります。

## 不登校児童数の推移

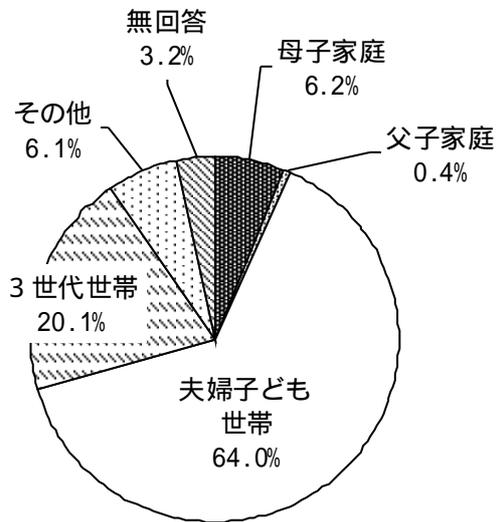


「平成16年度越谷市の教育」(越谷市教育委員会)

本市の不登校児童数は、小学校・中学校ともに平成14年以降減少し、また、不登校率も減少傾向にあります。

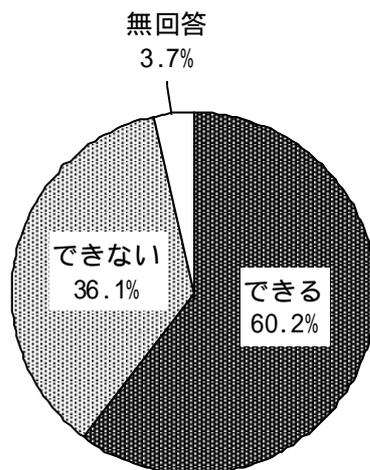
## (2) 家庭の状況

家族の構成について(小学生の家庭)



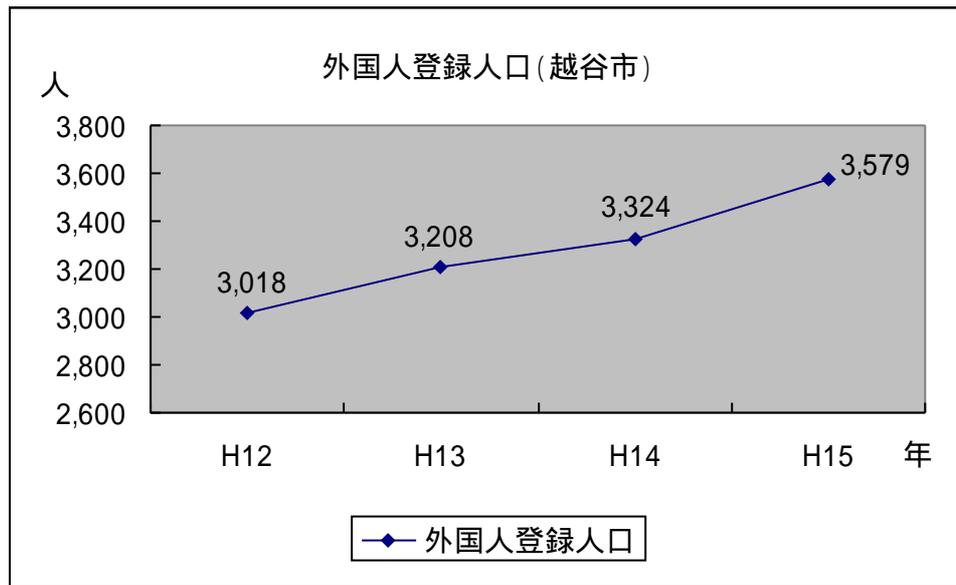
子育て家族の家族構成については、夫婦子ども世帯、いわゆる核家族が最も多く、6割を超えています。また、ひとり親家庭も小学生家庭で6%以上になっています。

同居家族は子どもの世話ができるか(就学前児童の家庭)



同居家族は子どもの世話ができるかについては、約4割ができないと回答し、親だけで子育てをしている家庭が多くなっています。

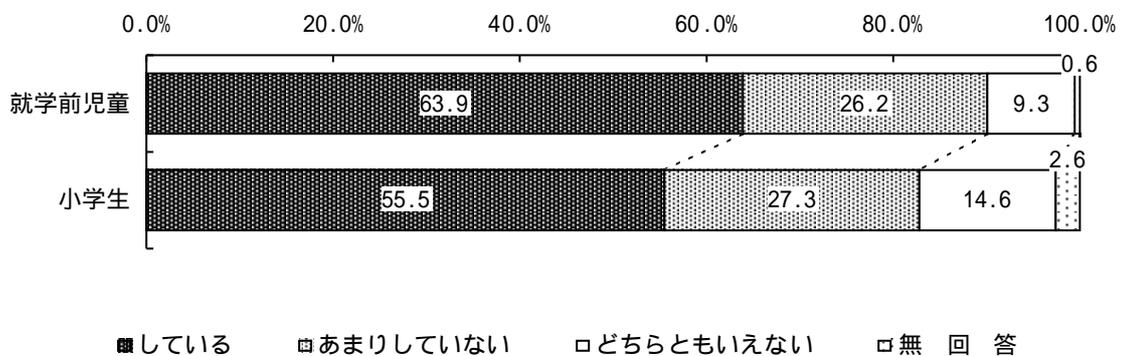
## 外国人登録人口の状況



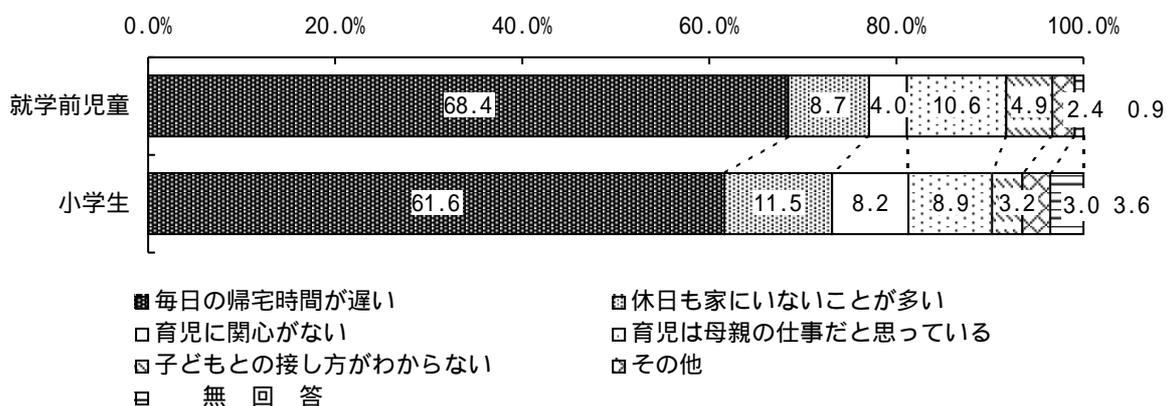
平成15年度版越谷市統計年報

外国人登録人口は、年々増加傾向にあり、外国籍の子育て家庭が増えています。

## 父親の子育てへの参加状況について

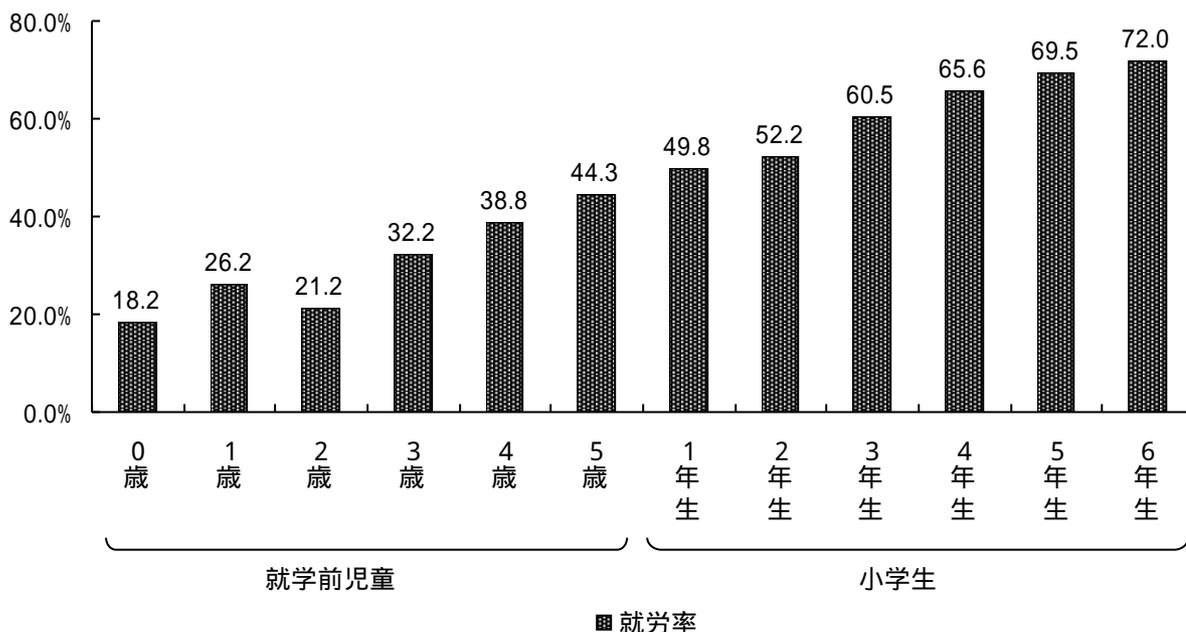


## 父親が子育てに参加しない理由



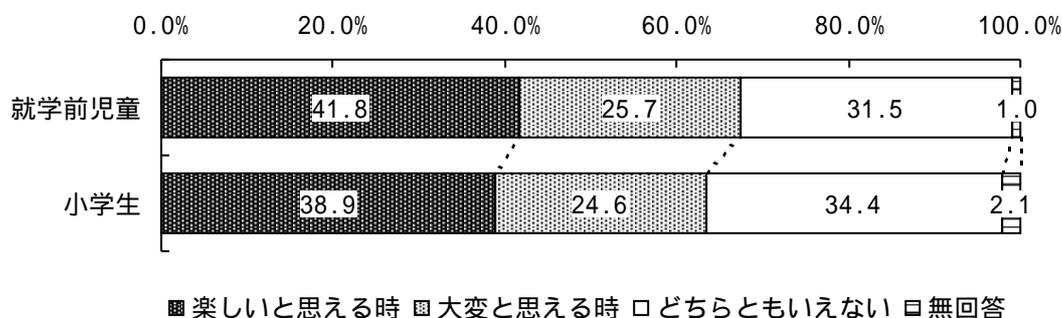
父親の子育てへの参加状況については、参加している父親の割合が6割前後で、また、子育てに参加しない理由については、「毎日の帰宅時間が遅い」との回答が最も多くなっています。

### 母親の就労状況について



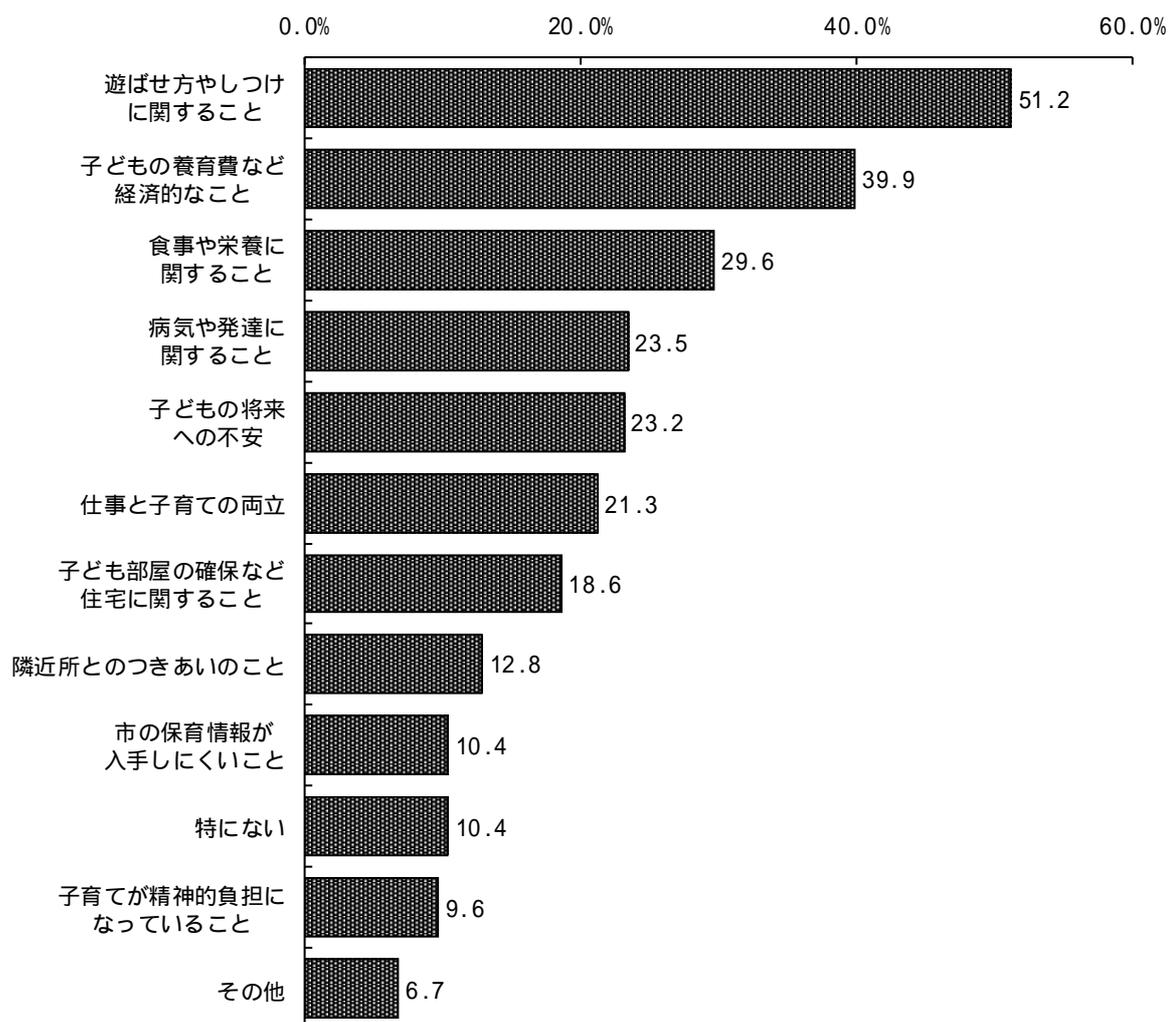
母親の就労状況をみてみますと、子どもの年齢とともに上昇し、小学校6年生になると7割に上っています。

### 子育てを楽しいと思える時と大変と思える時ではどちらが多いですか



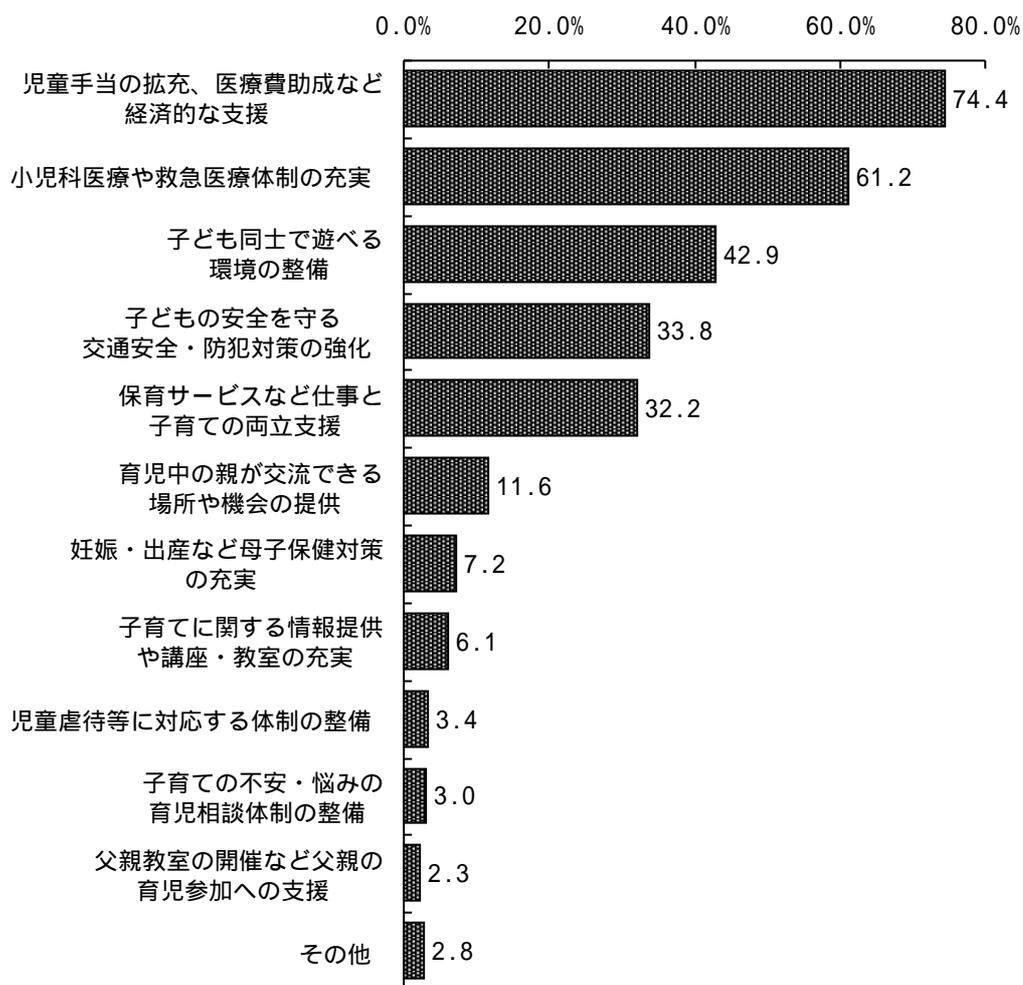
子育てを楽しいと思える時と大変と思える時とはどちらが多いかでは、25%前後の人が、「大変と思える時の方が多い」と回答しています。

## 子育てについて悩んでいること(就学前児童の家庭、複数回答)



子育てに悩んでいる世帯は多く、「日常のしつけなどに関すること」をはじめとして、いろいろな悩みや不安を抱えています。また、「病気や発達に関すること」なども多くなっています。

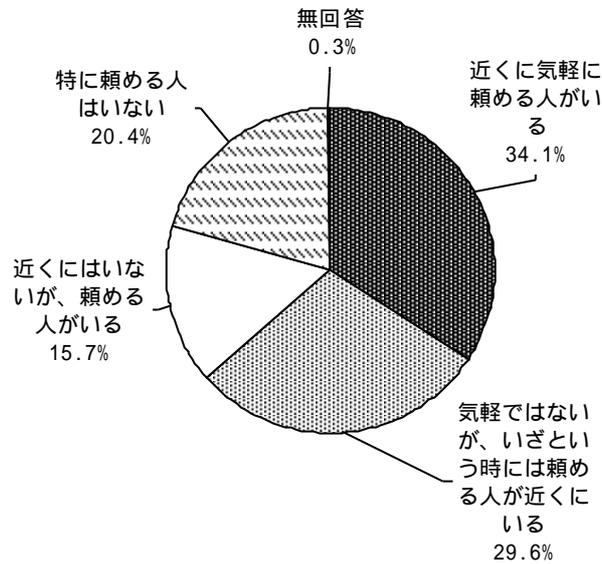
子育て支援策の力点について(就学前児童の家庭、複数回答)



子育て支援の力点については、経済的支援に続き、小児科医療や救急医療体制の充実を望む声が高くなっています。

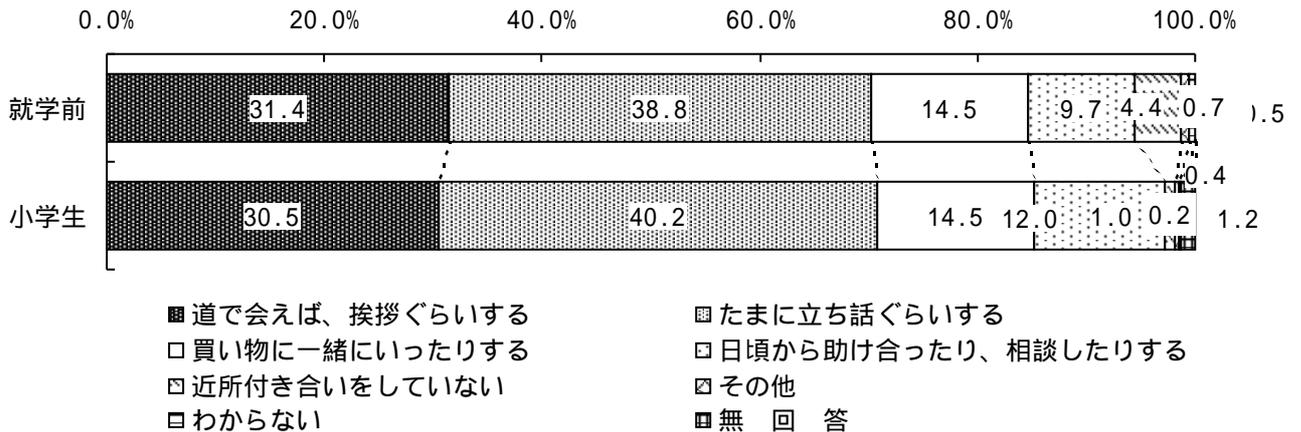
### (3) 地域の状況

近くに子どもの世話を頼める友人がいますか(就学前児童の家庭)



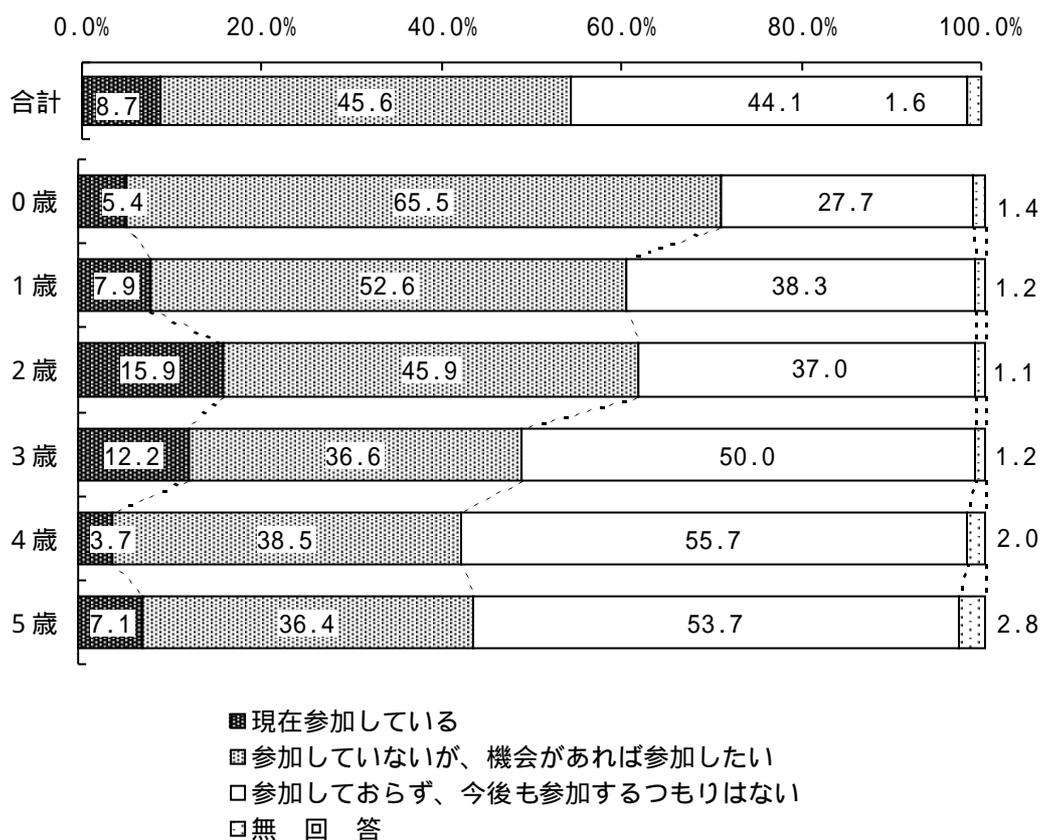
近くに子どもの世話を頼める人がいるかについては、2割程度の人が「特に頼める人はいない」と回答しています。

日頃の近所づきあいについて



日頃の近所づきあいについては、約4割の人が「たまに立ち話ぐらいする」と回答しています。

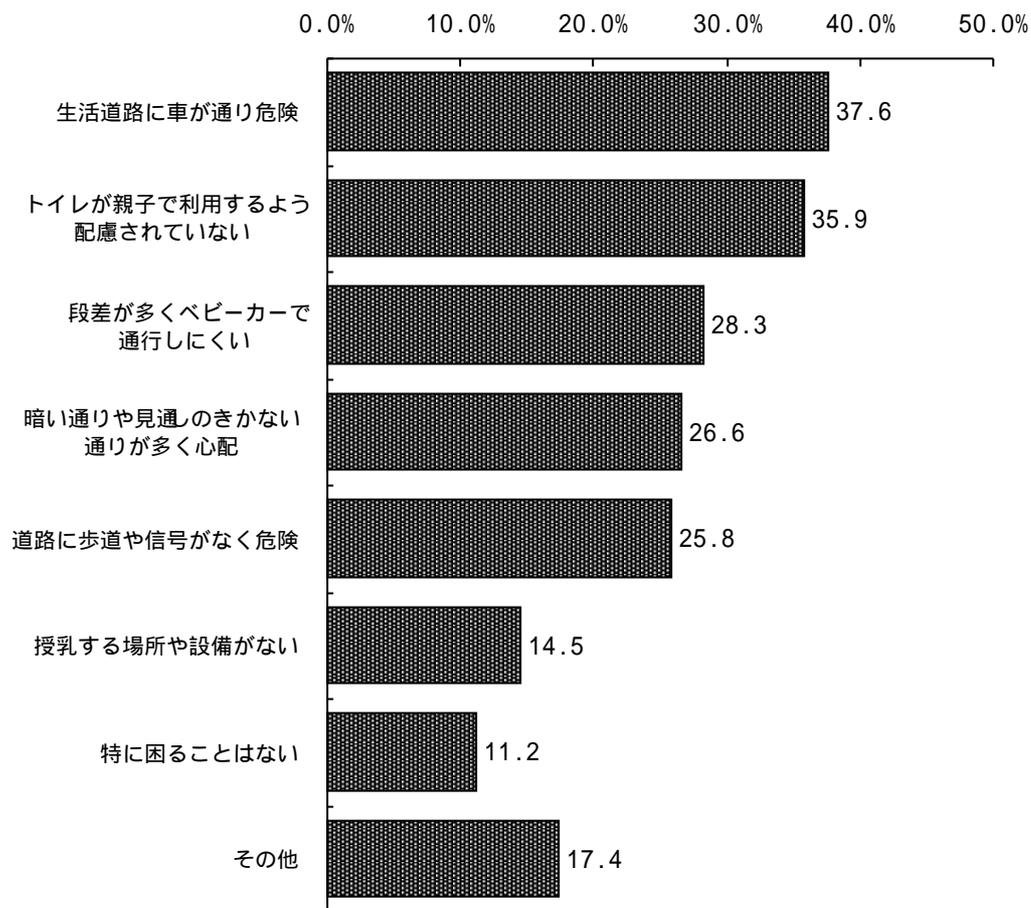
## 子ども会など自主的な活動への参加について



自主的な活動への参加状況については、「参加していないが、機会があれば参加したい」という回答が、0歳児を持つ親で65.5%と非常に高くなっています。



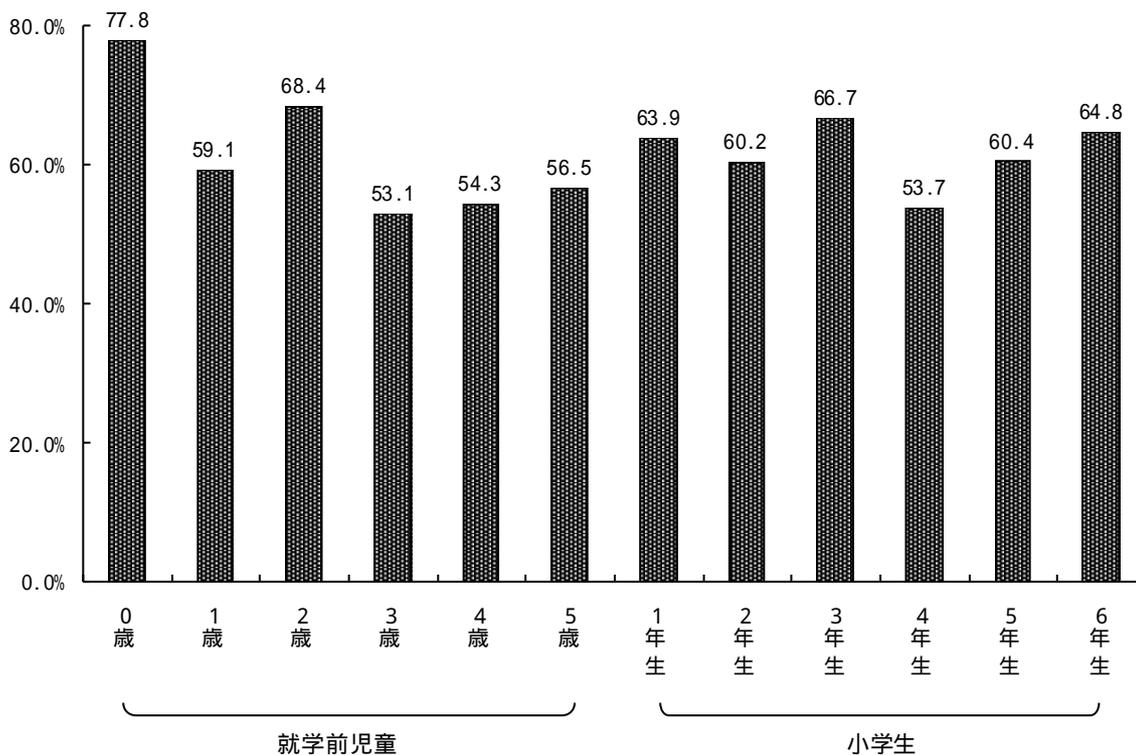
子どもと一緒に外出する際に困ること(就学前児童の家庭、複数回答)



外出する際、困ることについては、「生活道路に車が通り危険」、「トイレが親子で利用するよう配慮されていない」、「段差が多く、ベビーカーで通行しにくい」等が多くなっています。

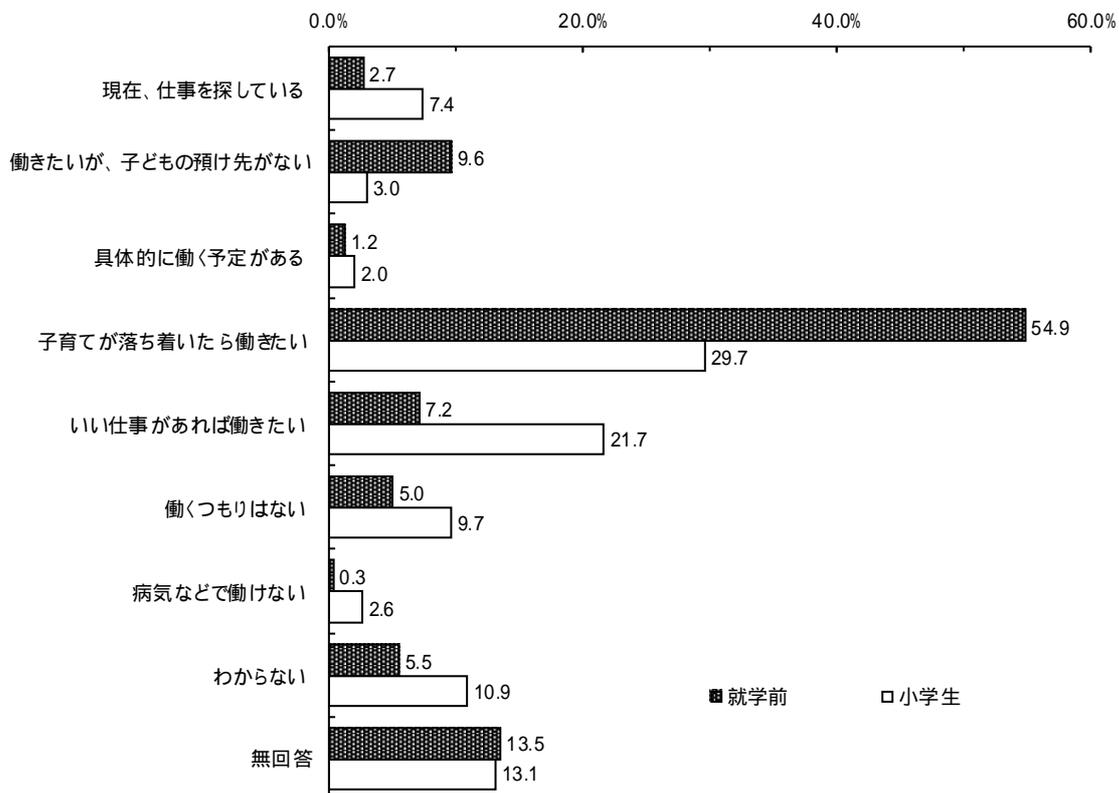
## (4)働く親の状況

現在働いている母親の今後の就労意向について



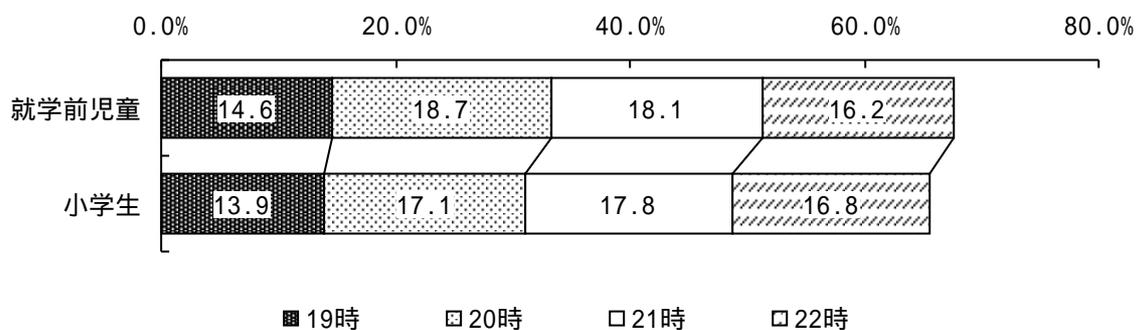
■ 働き続けたい

現在は働いていない母親の今後の就労意向について

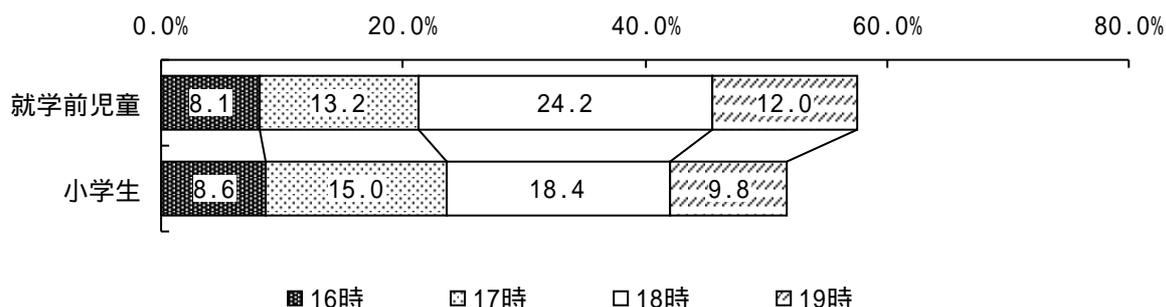


現在働いている母親の今後の就労意向については、0歳児をもつ母親の8割近くが働き続けたいと希望しており、それ以降は6～7割で推移しています。また、現在は働いていない母親の今後の就労意向については、「子育てが落ち着いたら働きたい」との回答が多くなっています。

### 父親の帰宅時間について

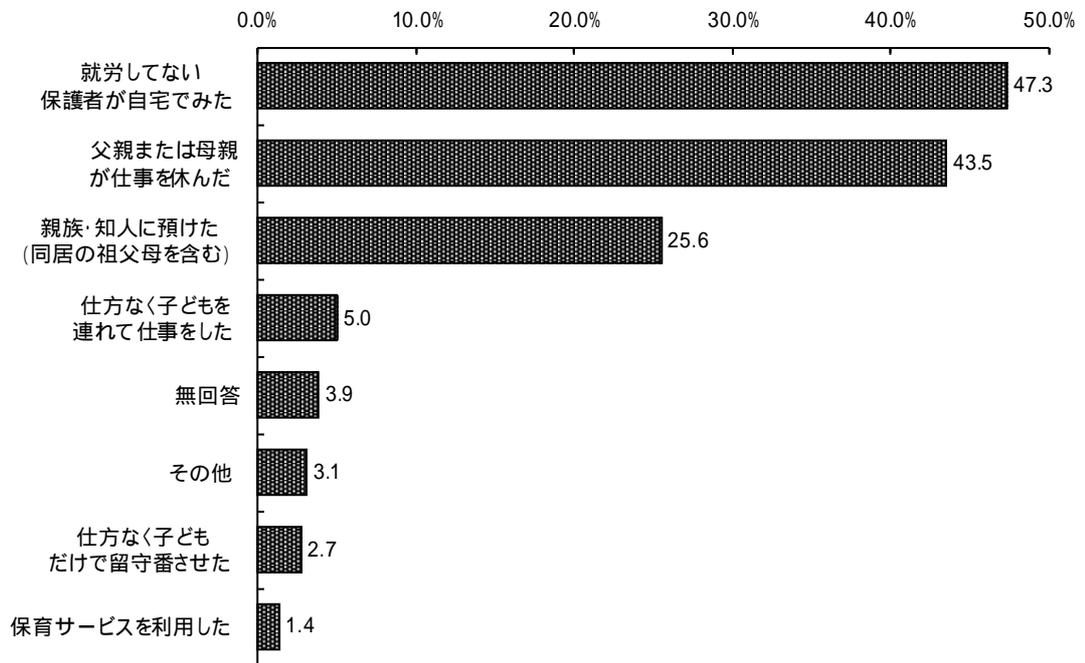


### 母親の帰宅時間について



父親の帰宅時間は午後8～9時台、母親は午後6時台が最も多くなっています。

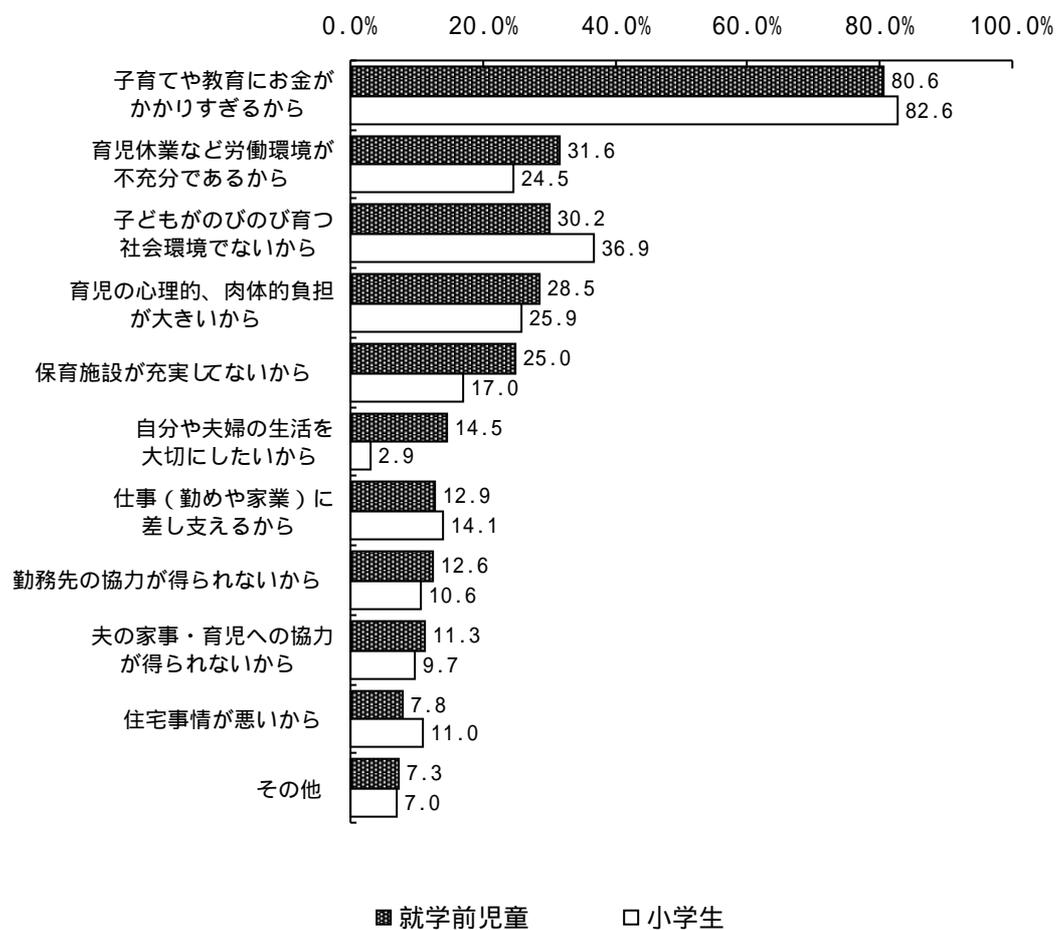
## 子どもが病気になったときの対応について



子どもが病気になった時の対応については、「就労していない保護者が自宅でみた」、「父親または母親が仕事を休んだ」との回答が最も多くなっています。



## 少子化の要因について



少子化が進む要因についての意見は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も多く、「育児休業など労働環境が不十分であるから」、「子どもがのびのび育つ社会環境ではないから」などの順になっています。

## 子ども、家庭、地域等の状況のまとめ

### (1)子どもの状況

子どもの生活の状況については、学校週5日制のアンケート調査から、生活にゆとりが出た反面、テレビゲームなどの時間が増えたことや就寝時間が遅くなるなどの影響が出ています。また、子どもの遊び場の充実や児童向けの事業の開催、学校施設の開放等の要望が高く、子どもの居場所・遊び場づくり、直接的な体験学習の提供や、集団遊びや異年齢での遊び、世代間の交流が求められています。

朝食の喫食状況の調査から、朝食をとらない子どもが10%以上いることや、ひとりで食事をする子どもが30%以上いるなど、家族の生活状況が浮き彫りにされており、家庭における食の重要性が示唆されます。

越谷児童相談所管内の相談状況を見ると、さまざまな相談が寄せられ、年度間の増減はあるものの虐待相談件数は増加傾向にあることや、子どもに関わる事件が多発するなど、相談機能の充実や子どもの人権、安全の確保が求められています。

#### 課題

- ・子どもの居場所づくりや直接的な体験学習
- ・地域における子どもの異年齢・異世代交流
- ・食の重要性の認識と学習機会の提供
- ・子どもの人権尊重や安全確保

### (2)家庭の状況

越谷市における家族の構成は、核家族が6割を超えていることや、同居家族が子どもの世話をできない割合が約4割を示すなど、特定の人に子育て負担がかかっていることが推測され、子育て支援サービスの充実が求められています。

また、ひとり親家庭が小学生家庭で6%以上になっていることや外国人登録人口は年々増加傾向にあることから外国籍の子育て家庭など、さまざまな子育て家庭に対する支援が求められています。

核家族の増加や父親の帰宅時間が遅いなどを背景に、子育てに対して負担感や悩みを抱えている親が多く、気軽に子育てしている親の交流や相談ができる機会の提供が必要といえます。

子育てに対して、日常のしつけや病気、発達などで悩んでいる親が多く見られ、また、子育て支援に対して、経済的支援に続き小児科医療や救急医療体制の充実を望む声が高くなっていることから、子どもの医療体制の充実や健康の確保が求められています。

## **課題**

- ・子育て家庭の交流機会や相談機関の充実
- ・男性の育児参加の促進
- ・ひとり親家庭や外国籍家庭への支援
- ・健康の維持・増進、医療体制の充実

### **(3)地域の状況**

2割程度の人が、近くに子どもの世話を頼める人がいないことや、日ごろの近所づきあいで、約4割の人が「たまに立ち話する程度」であることから、地域のつながりをつくっていくことが求められます。

また、子ども会などへの参加状況が約10%程度ですが、機会があれば参加したい人が約50%となっており、子ども会活動等の地域活動の活性化が期待されます。子どもの安全確保についても、子どもを見守るため地域のつながりを強くしていくことも必要とされます。

子どもたちの体験活動を重視しながら学校・家庭・地域が連携し、社会全体で教育力を充実していくことが必要です。地域の人を部活動の指導者として活用するなど地域力を活かした学校づくりが求められています。

生活環境については、子ども連れでの外出時において、道路の形状や交通状況による困難性があること、トイレが親子で使えるよう配慮されていないなどの指摘が多くあり、ユニバーサルデザインに基づくバリアフリーの整備が求められています。

## **課題**

- ・地域における子どもや親同士の交流の促進
- ・地域ぐるみによる子どもの見守り
- ・地域の人材を活用した学校支援
- ・公共施設等のバリアフリーの推進

#### (4)働く親の状況

父親の帰宅時間は、午後 8 時から 9 時の時間帯が最も多く、共働き世帯が多いことや就労形態も多様化していることから多様な子育て支援サービスが求められています。

子どもが病気になった場合、父親または母親が休んでいるケースが多く、子どもが病気になったときや病気の回復時の保育サービスが必要です。

少子化の要因の中に、育児休業や労働環境が不十分であるからをあげた人が就学前児童を持つ家庭で 30%を超えていることや、勤務先の協力が得られない理由も就学前児童・小学生を持つ家庭で共に 10%を超えており、子育てと仕事を両立するための就労環境の整備や企業の協力が必要とされます。

#### **課 題**

- ・多様な保育サービスの充実
- ・子育てと仕事が両立できるよう企業への働きかけ

### 3 主な子育て支援サービス事業の状況

#### (1) 越谷市子育てサロン

子育てサロンでは、就学前の子どもを育てている方を対象に、子育て経験者を通して子育てに関する悩みや相談を受けたり、子育て中の親同士の交流を図る場を設けています。また、子育てサークルによる各種講座等があります。

対象 就学前までの子どもと保護者  
利用時間 9：30～17：00（月曜、年末年始は休み）  
所在地 新越谷駅ビル「ヴァリエ」1階  
961-3623

次の場所でも、子育てサロンを実施しています。

花田学童保育室（花田小学校内）

子育て相談：火曜日、10：30～12：00

子育て講座：第1・2・3金曜日、10：30～11：30

ほっと越谷（パルテきたこし3階）

子育て相談：水曜日、10：30～12：00

#### 相談等開催回数（子育て相談には各サロン事業を含む）

区分	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
子育て相談	309	334	455	486	518
子育て講座	50	62	66	75	75
親子講座	12	12	16	20	23
計	371	408	537	581	616

### 相談内容別件数

平成15年度

	件数	構成比
生活習慣	1742	18.28%
発育・発達	1636	17.17%
生活環境	1179	12.37%
社会環境	1102	11.57%
家庭環境	817	8.57%
地域環境	627	6.58%
性格	324	3.40%
仕事	225	2.36%
ストレス	446	4.68%
子どもへの接し方	554	5.81%
その他	252	2.64%
計	9528	100%

### 会場別相談等開催回数

平成15年度

	区分	件数
ヴァリエ	子育て相談	409
	出張サロン	10
	父親サロン	9
	マタニティサロン	10
	子育て講座	51
	親子講座	12
花田学 童保育 室	子育て相談	30
	子育て講座	24
	親子講座	11
ほっと 越谷	子育て相談	50
計		616

## (2) こしがやファミリー・サポート・センター

こしがやファミリー・サポート・センターは、子育ての援助を行いたい方(提供会員)と子育てのサービスを受けたい方(利用会員)を、会員として組織し、会員同士による子育ての援助活動を支援します。利用するには、会員登録が必要です。また、利用される場合は利用料金を負担していただきます。

援助活動は、保育所への送迎や一時保育、小学校帰宅後の預かり等です。

対象 小学校3年生までの児童(平成17年4月からは6年生まで)  
 所在地 越谷市社会福祉協議会内(事務局)  
 960-2311  
 援助活動時間 6時～22時

### 援助の内容 (件)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度
保育所・幼稚園の送り	32	207	450
保育所・幼稚園の迎え	103	287	822
保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	136	250	122
保育所・幼稚園の帰宅後の迎え及び帰宅後の預かり	549	660	1147
保育園・幼稚園の帰宅後の預かり	9	14	21
学童の放課後の預かり	95	27	33
学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	113	417	362
子どもの病気時の援助	14	31	46
保育所・学校等休み時の援助	47	88	118
保育所等施設入所前の援助	13	6	3
保護者等の病気、その他急用等の場合の援助	43	55	23
保護者の短時間・臨時的就労の場合の援助	14	16	120
保護者の求職活動中の援助	4	5	6
その他	85	55	381
<b>計</b>	<b>1,257</b>	<b>2,118</b>	<b>3,654</b>

### (3) 越谷市家庭児童相談室

家庭児童相談室では、学校や幼稚園に行けない、夜尿や爪かみ、チックが治らない、非行の心配がある等、児童のことについて、専任の相談員が相談に応じ、助言を行います。電話での相談もできます。

対象 18歳未満の児童及びその保護者  
 相談時間 月～金曜日 9時～16時（祝日を除く）  
 所在地 家庭児童相談室（中央市民会館4階）  
 964-2111（内線2836）

#### 家庭児童相談室相談状況

（件）

区分	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
性格・生活・習慣等	642	692	468	482	493
知能・言語	64	49	12	11	23
人間関係	220	207	169	187	173
登校拒否	186	166	144	122	114
その他（学校生活等）	297	265	169	219	172
歩行	38	65	21	11	6
家族関係	348	354	226	303	266
環境福祉	104	68	4	6	8
心身障害	70	51	19	25	18
その他	235	200	112	211	170
計	2,206	2,117	1,344	1,577	1,443

## (4) 児童館

### 児童館コスモス

児童館コスモスは、児童に健全な遊びや各種事業を通して子どもたちの健康を増進し情操を豊かにすることを目的としています。また、遊びを通して科学に対する興味・関心を高め、創造性豊かな児童を育みます。

児童館コスモスでは、「天文と物理」をテーマに、ドームのプラネタリウムや宇宙展示コーナー、科学体験コーナーがあり、望遠鏡を備えた天体観測室では、毎月天体観望会を開催しています。また、乳幼児をお持ちの方を対象とした講座等への参加や遊戯室・幼児室の利用ができます。

開館時間 9時～17時

休館日 毎週月曜日、年末年始（休館日は平成17年4月1日現在）

所在地 千間台東2-9 978-1515

児童館コスモス入館者数 (人)

	計	幼児	小学生	中高生	大人	団体等 (再掲)
平成13年度	134,397	45,479	40,710	5,327	42,881	9,388
平成14年度	135,015	48,428	36,472	4,818	45,297	8,451
平成15年度	136,669	49,784	36,324	4,855	45,706	8,390

(団体等は再掲)

### 児童館コスモス・子ども家庭相談

乳幼児の生活習慣や発育、健全な遊びについて専任の子ども家庭相談員が相談に応じ、助言を行います。電話による相談もできます。

相談日：火曜日～土曜日、9時～16時

児童館コスモス子ども家庭相談利用状況 (件)

	乳幼児	小学生	中学生	高校生他	計
生活習慣・発育・発達	99	1			100
情緒的な問題(遊び等)	116	18	2	4	140
ことば	5				5
学習	9	1			10
就園・就学・進路	33	1	1		35
子育ての不安	3			2	5
その他	2		1	9	12
計	267	21	4	15	307

(相談件数 307 件のうち 38 件は電話相談)

## 児童館ヒマワリ

児童館ヒマワリは、児童に健全な遊びや各種事業を通して、健康を増進し情操を豊かにすることを目的としています。また、遊びを通して生物や環境に対する興味・関心を高め、創造性豊かな児童を育みます。

児童館ヒマワリでは、「生物と環境」をテーマに、ミクロの世界を見ることができる電子顕微鏡やトマトの栽培コーナー、生物・環境科学展示コーナー、淡水魚が観察できるミニ水族館、200インチの大型映像が楽しめる視聴覚ホールがあり、乳幼児をお持ちの方を対象とした講座への参加や遊戯室・幼児室の利用ができます。

開館時間 9時～17時

休館日 毎週月曜日、年末年始（休館日は平成17年4月1日現在）

所在地 蒲生旭町11-35 986-3715

### 児童館ヒマワリ入館者数

(人)

	計	幼児	小学生	中高生	大人	団体等 (再掲)
平成13年度	140,772	50,663	42,312	4,062	43,735	6,088
平成14年度	138,227	48,696	43,431	3,847	42,253	5,508
平成15年度	141,394	50,060	44,926	3,224	43,184	5,837

(団体等は再掲)

### 児童館ヒマワリ・子ども家庭相談

乳幼児の生活習慣や発育、健全な遊びについて専任の子ども家庭相談員が相談に応じ、助言を行います。電話による相談もできます。

相談日：火曜日～土曜日、9時～16時

### 児童館ヒマワリ子ども家庭相談利用状況

(件)

	乳幼児	小学生	中学生	高校生他	計
生活習慣・発育・発達	138	9			147
情緒的な問題(遊び等)	194	27	1		222
ことば	26	1			27
学習	4	2			6
就園・就学・進路	12	1	1		14
子育ての不安	2	1			3
その他		1			1
計	376	42	2	0	420

(相談件数420件のうち151件は電話相談)

## (5) 保育所等

### 保育所、保育園

保護者が仕事や病気のために保育できない場合、保護者に代わって乳幼児を保育する施設です。市内には、公立保育所18カ所、民間保育園7園があり、入所には申し込みが必要です。また、各家庭の所得税額等に応じた保育料の負担があります。

対象	入所時3か月を過ぎた乳幼児から小学校就学前	
保育時間	平日	8時30分～16時30分
	土曜日	8時30分～正午
時間外保育	平日	7時～8時30分 16時30分～19時
	土曜日	7時30分～8時30分 正午～14時

障害児保育を実施(18カ所) 3歳～5歳児  
地域子育て支援センター併設 1カ所

### 保育所数と入所児童数

	施設数： ( )は0歳児併設	入所児童数(人)
平成13年度	18 (15)	1,798
平成14年度	18 (15)	1,848
平成15年度	18 (15)	1,816

各年度4月1日現在

### 保育園数と入園児童数

	施設数： ( )は0歳児併設	入園児童数(人)
平成13年度	7 (5)	615
平成14年度	7 (6)	672
平成15年度	7 (6)	690

各年度4月1日現在

### 年齢別入所状況

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計(人)
保育所	78	187	260	386	445	460	1816
保育園	24	84	122	135	155	170	690
計	102	271	382	521	600	630	2506

各年度4月1日現在

## 家庭保育室

保護者が仕事や病気等で保育できないとき、市が指定した家庭保育室で家庭保育を行っています。市内には、24ヵ所の家庭保育室があります。また、保育料は各家庭保育室により異なりますが、市では保護者の所得税額等に応じて保育料の一部を助成しています。

対象 生後6週間～3歳未満  
保育時間 8時30分～16時30分

### 家庭保育室の利用状況

	施設数	入室児童数(人)
平成13年度	17	49
平成14年度	18	35
平成15年度	20	68

各年度4月1日現在

## (6) 学童保育室

昼間保護者のいない小学校低学年児童の健全育成を図るため、放課後から19時までの間、学童保育室を設置しています。市内には、公立学童保育室22ヵ所、民間学童保育室10ヵ所があります。

対象 小学1年生～3年生  
保育時間 平日、放課後～19時  
保育料 月額5,000円(別におやつ代1,200円)

### 公立学童保育室の利用状況

	施設数	入室児童数(人)
平成13年度	19	724
平成14年度	20	811
平成15年度	22	934

各年度3月31日現在

### 民間学童保育室の利用状況

	施設数	入室児童数(人)
平成13年度	3	103
平成14年度	6	124
平成15年度	12	183

各年度3月31日現在

## (7) 保育ステーション

市では、都内等への通勤者が多い状況を踏まえ、利便性の高い駅前に「保育ステーション」を設置し、仕事と育児の両立を支援するとともに多様な保育ニーズに対応するため、送迎保育をはじめとして、一時保育、育児相談など、子育て支援事業を幅広く行っています。

### 南越谷保育ステーション

所在地 越谷市南越谷 1 - 1 2 - 1 1 イーストサンビル 2 5 階  
9 8 7 - 6 3 0 0

開所時間 6 時 3 0 分 ~ 2 2 時 (年末年始は休所)

- ・送迎保育：市が指定する保育園への送迎及びこれに伴う保育を行います。満 1 歳児から対象となります。
- ・一時保育：保護者が緊急の場合等に一時的に保育を行います。生後 4 か月から就学前までです。
- ・育児相談：子育て家庭に対し、育児不安等の相談を行います。

	時間	利用料	定員
送迎保育	6:30~21:00	市の保育料とは別に 1 日 5 0 0 円	2 0 人
一時保育	6:30~22:00	1 時間 5 0 0 円	1 5 人
育児相談	8:30~18:30	無料	随時

### 北越谷保育ステーション

所在地 越谷市大沢 3 - 6 - 1 パルテきたこし 3 階  
9 7 0 - 8 2 0 0

開所時間 6 時 3 0 分 ~ 2 2 時 (年末年始は休所)

- ・送迎保育：市が指定する保育園への送迎及びこれに伴う保育を行います。満 1 歳児から対象となります。
- ・一時保育：保護者が急用やリフレッシュを図りたい時等に、一時的に保育を行います。生後 4 か月から就学前までです。
- ・育児相談：子育て家庭に対し、育児不安等の相談を行います。

	時間	利用料	定員
送迎保育	6:30~21:00	市の保育料とは別に 1 日 5 0 0 円	2 0 人
一時保育	6:30~22:00	1 時間 5 0 0 円	2 0 人
育児相談	8:30~18:30	無料	随時

南越谷保育ステーション利用者数(延べ人数) (人)

	送迎保育	一時保育	育児相談	計
平成13年度	2405	2156	1312	5873
平成14年度	2143	2112	1453	5708
平成15年度	1444	3245	2324	7013

北越谷保育ステーション利用者数(延べ人数) (人)

	送迎保育	一時保育	育児相談	計
平成13年度	3	1934	892	2829
平成14年度	679	2956	2358	5993
平成15年度	1032	3186	2800	7018

保育ステーション・一時保育の利用理由 (件)

	就労・職業訓練等	傷病・出産・監護・冠婚葬祭等	リフレッシュ・買い物等	計
南越谷保育ステーション	1155	192	1898	3245
北越谷保育ステーション	1534	560	1092	3186
計	2689	752	2990	6431

## **(8) 越谷市地域子育て支援センター**

地域で子育てを支える環境づくりを推進するため、増林保育所内に「地域子育て支援センター」を設置し、一時保育、子育て電話相談、子育て講座等、様々な子育て支援事業を行っています。

対象 1歳から就学前まで  
所在地 越谷市東越谷8-180 (増林保育所内)  
電話番号 子育て支援センター 960-5800  
子育て電話相談 960-5600

一時保育 保護者が急用等で困った時、また、子育てのリフレッシュを図りたい時等、一時的にお子さんをお預かりしています。

対象: 満1歳以上の未就学児童

保育時間: 月曜日～金曜日、8時30分～16時30分

子育て相談 子育ての不安や悩みについて電話等で保育士が相談を行います。  
毎週水曜日、10時～15時、無料

子育て講座 保護者同士の交流や親子のふれあい交流を促進するため、子育てに関する講座や情報の提供を行います。

子育てサークル等の育成・支援や子育てサークル活動等を行う方の育成・支援を行います。

### **平成15年度子育て支援センター利用状況**

子育て講座	育児相談・相談件数	子育て電話相談・相談件数	一時保育・利用人数	一時保育・利用延べ人数
445	34	184	232	735

## 主な子育て支援サービス事業の状況のまとめ

児童数が減少する中でも、女性の社会進出等により公・私立の保育所や学童保育の入所児童数は増加しており、高い需要があります。

また、子育て仲間との交流ができ、さらには子育ての助言や相談が受けられる子育てサロンは、相談日数が増加していることから、今後も利用を希望する人は多く見られると思われま

す。家庭児童相談室の相談内容からは、子どもの性格や生活、家族関係に関する相談が多いことから、児童の相談体制の充実が求められています。

また、ファミリーサポートセンターの活動状況や保育ステーションの一時保育の利用者が大きく伸びていることから、引き続き一時保育等の多様な保育サービスが必要とされます。

遊びや各種事業を通して児童の健全育成を図る中核的な施設である児童館コスモスとヒマワリは、各館とも年間10万人を超える利用者があり、事業の充実や子育て支援施設としての役割も期待されます。

### 課題

- ・保育所、学童保育室の整備
- ・多様な保育ニーズに対応する保育サービスの充実
- ・親の交流機会の提供や相談機関の充実
- ・児童館事業の充実